

連載

こんな根^ねどうだ根^ね —第1回メロン—

中野明正

野菜茶業研究所 果菜研究部

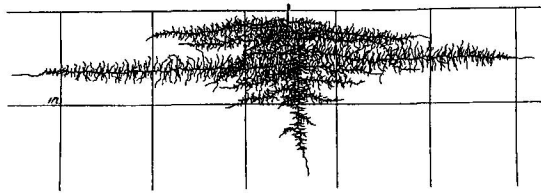
(学) *Cucumis melo*
(英) melon
(仏) melon
(種) ウリ目 ウリ科

1. 生まれと育ち

メロンの語源は、リンゴのようなウリを意味するギリシャ語の“melōpepōn”,です。アフリカニジェール川流域に原生し、古代エジプトを経て、中近東に渡り作物となったと考えられています。さらに、ヨーロッパでは14~16世紀にかけて栽培が盛んになり、アメリカへは16世紀に伝えられました。メロンは、種内分化が著しく、変種は40を超えます。シロウリやマクワウリとも同じ仲間、日本へは紀元400年ごろの応神天皇の時代に、朝鮮半島から渡来したと言われていますが、弥生時代の遺跡から種子が見つまっていることから、それ以前にイネといっ

しよに日本に渡っていたという説もあります。

ネットメロンの系統は、中近東、中央アジアで生まれた変種が、ヨーロッパやアメリカで品種改良されて日本に導入されたものです。ここで紹介するマスクメロンは、熟すにしたがって、柔らかくなり、良い匂いを発します。マスクメロンのマスクは musk であり麝香（ジャコウ）のような芳香があることを示しています。マスクメロンとして普及した品種は、大正末期から昭和の始めにかけて、イギリスから導入され、温室栽培専用に改良されたものです。もともと、メロンは日本のような多湿な環境に適さないものですが、その栽培を可能としたのは温



播種 35 日目のマスクメロンの根系 (Weaver, 1926) : メロンは、浅い根系を形成し、ほとんどの根が 30cm 以内に分布する (格子は 1 フィート (30.5cm)).



アールスナイト春秋系 2 号
(7月6日播種, 10月9日: 収穫直前)



収穫直前の植物体の様子 : マスクメロンは、ビニール紐などで果実を吊り下げて栽培する。
(7月6日播種, 10月9日: 収穫直前)

2002年2月20日受理

*連絡先 〒470-2351 愛知県知多郡武豊町字南中根 40-1
Fax: 0569-73-4744 E-mail: anakano@affrc.go.jp

室と栽培技術であり、手間隙かけた温室メロンの最初の栽培は、明治20年に新宿御苑で始められ、貴族や財閥の庭園を賑わしたと言われてい

2. どんな実

メロンは独特の芳香を持っています。追熟が進むといわゆる果実エステルが生成し、それが良い香りと感じるわけです。エチルベンチオカーボネートが含まれているのがメロンの果実の特徴です。マスクメロンのもう一つの特徴は、果実の表面に網目を形成することです。そのためネットメロンとも言われます。ネットメロンの果実の果皮は途中で生育を止めますが、さらに果実が肥大しようとして、ひび割れが生じます。このひび割れを塞ごうとして組織がコルク化しネットのようになるのです。味と同様、見た目の美しさも品質の一つとして評価されます。収穫したメロンは、一般に収穫後1週間程度追



メロンの地上部：下から数えて11～13節目の雌花に受粉させ、形の良い果実をひとつ残す。葉は22～24枚つけてから、摘心する。

熟させ、いわゆる'ちょんまげ'（果柄と側枝の一部）が萎れてきて、お尻の部分（花落ちの部分）が柔らかくなってきたときが食べごろです。カリウムなどのミネラルが豊富で、有機酸など疲労を回復させる成分も多いのが特徴です。香、甘さ、見た目の美しさが渾然一体となり、豊かな気持ちにさせてくれる野菜です。

3. どんな根

Weaver の記述によると、マスクメロンの根系は、キュウリの根に似ていて、横には張りませんが、深い層にまで根は伸びず、浅い層にその根系を発達させます。この深さは、栽培後期には1mぐらいにも達しますが、表層に生えている6～8本の側根が水平方向に伸び、多くの側根を生じさせます。一般に植物体の近くほど根の量は多くなりますが、点滴で液肥を与える養液土耕の場合、写真で見られるように点滴の部分に根が集中してきます。

地上部が3m以上になった場合、主根は1m程度までくねりながら伸びて行きますが、30cm以下の部分では、長い側根は生じません。根系全体で見ると、表層に伸びる大多数の根によって深くに分布する根が覆い隠されるように見えます。

一般にウリ科の作物は、ナス科の作物に比べ、細い根が浅く張る特徴がありますが、ウリ科の中でもメロンはキュウリよりは深根性であり、果実肥大後の水切りで果実糖度が高まるといわれています。特に日本のような多雨な環境では、ハウスなどを使った雨よけ栽培が不可欠であり、ドレンベッドなどの隔離床を用いた根域制限栽培が行われています。



メロンの株元：根が見えやすいように表層を水道水で流してみた。黒い矢じりの部分から養水分が点滴で与えられていたため、その部分に細根の集中が認められた。

参考文献

- 1) 瀬古龍雄, そだててあそぼう 13 メロンの絵本, 農文協, 1999
- 2) 大泉利勝, 新編野菜園芸ハンドブック, 西貞夫 監修, 東京, 養賢堂, 2001
- 3) 相馬暁, 野菜学入門, 三一書房, 1996
- 4) 藤枝國光, 野菜の紀元と分化, 福岡, 九州大学

出版会, 1993

- 5) Weaver, J.E. and Bruner, W.E. Root development of vegetable crops. NEW YORK, Mc GRAW-HILL BOOK COMPANY, Inc.1927
- 6) 小沢聖, 根の事典, p181~183, 1998
- 7) グラフィック 100 万人の野菜図鑑①, 野菜供給安定基金.



メロンの根系: 白くてはっきり見えるのは10本程度の1次側根である。褐色にもやもと見えるのは、それから分岐した2次3次の側根である。(水中に浮かべて撮影)



メロンの根系: 根長のほとんどが2次以上の側根により構成されている様子が良くわかる。